

在宅ケア Now では、「在宅ケア現場の今」をレポートします。今、在宅ケアが変わり始めています！

特別養護老人ホームで活用されている、見守り介護ロボット「ケアロボ」の運用事例をご紹介します！



千葉県・特別養護老人ホーム船橋笑寿苑の場合

【ケアロボ使用開始の状況について】

夜間に転倒を繰り返していた入居者に対して、事故の未然防止や大きな怪我にならないようにケアロボの使用を始めました。

【対策状況について】

コードレスマットスイッチとケアロボを使用して、利用者がベッドから足を下ろしたタイミングでスタッフのスマートフォンに報知するように設置・設定しました。



【ケアロボ+コードレスマットスイッチ設置全体図】



【ケアロボ設置場所／タンスの上】

【対策の効果】

今まで知らなかった夜間の利用者の動きや行動パターンが分かるようになりました。

センサーの報知は携帯電話・スマートフォンに届きますので、以前と比べてスタッフの訪室回数(は増えていますが、転倒事故や知らない間に離室しているケースがゼロになりました。行動パターンが分かるようになったことも大きな成果で今はセンサーが鳴る前にトイレ介助などができています。

利用者の事故がゼロになっただけでなく、スタッフが利用者を見守れることで余裕が生まれて精神的な負担の軽減に繋がっていることを実感しています。

見守り介護ロボット「ケアロボ」と「各種センサー」の組み合わせは HP をご覧ください。 <http://www.technosjapan.jp/product/tascal/#anchor01>